

～職場実習から就労へ～ 病院からのレポート

●2017年6月3日 ●奈良県社会福祉総合センター

【講師】市立奈良病院 副看護部長 畠田和久 氏

看護助手 Aさん (奈良東養護学校卒)

国保中央病院 看護部長 東岡美津子 氏

看護助手 Bさん (高等養護学校卒)

◆市立奈良病院 副看護部長 畠田和久 氏



- 2016年11月、初めて看護部で奈良東養護学校生徒を実習で受け入れました。私たち看護部の仕事はチームで行うので、「なかまを信じる」ことが大切です。「この人には何ができるのか、人として信頼できるのか」ということに尽きます。
- 初回の実習では、「何ができるのかではなく、信頼できる人かどうか」を見極めました。Aさんはとても緊張していましたが、実習中は決してあきらめることなく「一緒に働いていけるな。信頼できるな」と思いました。
- 2回目の実習では、一緒に働くなかまとして「課題を設定し克服できるか」をみるため、違う人や違う場所で同じような実習を計画しました。何でも「ハイ！」と返事するので、わからないことは『わかりません』と言えることが、信頼を得るためには必要なことであると伝えました。助手研修会に参加する機会があり、一番前で一生懸命に勉強していました。まじめで一生懸命取り組む姿は好感が持て、採用したいなあと思いました。
- 3回目は、就職も決まり職員同様の実習を実施しました。Aさんの業務内容を決定するための実習でした。
- 3回の実習ではそれぞれ目的に応じた実習内容を考え、次の3点に配慮して取り組みました。
①本人を不安にさせず実習を楽しんでもらうこと。 ②必要な知識を獲得し、就職時の選択肢の一つとして捉えていただくこと。 ③感染管理ができ（エプロン、マスク等の使用方法）患者も自分自身もまもることができること。
- 今後も奈良東養護学校生徒の就職先の一つであるために、Aさんにはパイオニアとして、働く先輩としての役割があります。業務内容の拡大、評価に耐えうる質の獲得、主体性の醸成、コミュニケーション力の向上に期待します。そのためにも、もう少し笑顔があればと思います。
- 今回いただいた機会を大切にするためにも、看護部として①看護助手業務基準の完成 ②個々に応じたオリエンテーションの見直し ③職員の能力開発としてクリニカルラダーの導入に取り組んでいきたいと考えています



- 国保中央病院は、川西町、三宅町、田原本町、広陵町の4町による組合立の自治体病院です。平成27年、初めて高等養護学校生徒を看護部で受け入れ、これまで2回職場実習を行ってきました。
 - 昨年、ならチャレンジ総会へ参加し、奈良県総合医療センター、万葉苑の方から採用へと至る講演を聞き、当院でも採用を進めていこうと思いました。早速、奈良県立医科大学附属病院、奈良県総合医療センターへ伺い、数年前から看護助手で採用されている実情を知りました。
 - 平成29年4月採用をめざし、初回は、8月に5日間、16時まで洗濯業務の実習に取り組みました。2回目は17時まで延ばし10日間。洗濯機、乾燥機の使用方法を覚えてくれました。3回目は、手術室の清掃を新たに取り組んでいただきましたが、一つのことに集中すると周りが見えなくなり、スピードも思うようにはかどりませんでした。「少し仕事を広げ過ぎたかなあ。あせらず、もっと、ゆっくり」と、私たちは反省し、4回目からは、洗濯業務をじっくりと実習してもらうことにしました。採用決定後も5回の実習に取り組み、4月からスムーズにスタートしています。
 - Bさんは、まじめでコツコツと取り組んでおり、とても明るく人なつこく、よくやってくれています。十分に慣れてきたら、病室等の新しい仕事も教えていきたいと考えています。末永く、当院で働いていただけることを願っています。
 - この1年間の取り組みから以下のことを教訓にしています。
 - ①良い点を評価し、褒めることが大事
 - ②ゆっくり、あせらずに育て、長い目で見ること
 - ③育成側の体制も整えることが必要
 - ④指導者の人選も大事なポイント
 - ⑤指導者やスタッフには事前に趣旨をよく分かってもらう
 - ⑥実習生の気持ちと指導者の気持ちをよく聞くこと
 - ⑦学校の先生との連絡を密にとること
- 「人を育成する」ということを改めて考える機会になり、新人を育てるのは看護師も看護助手も一緒であると改めて感じています。



◆市立奈良病院 Aさん（奈良東養護学校卒）

1. 奈良東養護学校でやってきた実習を教えてください

〈近商学園前〉 商品の品出し・前出し
〈おじま〉 部品のチェック
〈Msねっとびいぼ〉 食器洗い、昼食作り
〈花咲苑〉 病衣たたみ、タオルたたみ
〈ラ・ムー〉 食品のパック詰め
〈ウェルシア〉 商品の品出し、前だし、そうじ
〈市立奈良病院〉 そうじ、ベッドのシーツ交換

2. 今の仕事をしたいと思ったきっかけは、何ですか

卒業したらすぐに働きたいと思っていました。
3年生になり、市立奈良病院の実習で、仕事内容が自分に合っていると思い、ぜひ、この病院で働きたいと思いました。

3. 職場で気をつけていることは何ですか

- ・物を落とさないこと。
- ・重いものを運ぶとき、人や物にぶつからないようにしています。

4. 仕事のなかで苦手なこと、大変だなあと思う場面は、ありますか

特になし

5. 働きだして、2ヶ月ですが、うれしいこと、楽しいことは何ですか

仕事に慣れてくること。
やりがいを感じることです
→どのような時にやりがいを感じますか？
任された仕事をミスなくできたときです。

6. 初めのお給料は何に使いましたか

家族や祖母にプレゼントを買いました。
それから新しい携帯（スマホ）を買うために貯金しています。

7. これからの目標はありますか

自分でできることを増やしたいです。

8. 職場の方に一言

ぼくが仕事をできるようになったのは、皆様が教えてくださったおかげです。
本当にありがとうございます。
これからもよろしくお願いします。

9. これから就労を目指す、後輩たちに一言

就職ができるように頑張ってください。

◆国保中央病院 Bさん（高等養護学校卒）

1. 高等養護学校でやってきた実習を教えてください

2年生の時には3カ所で実習をしました。

1カ所目は、広陵南保育園さんで、
3歳児を担当して、子供たちと園庭で遊んだり、給食を運んだりしました。
また、最終日には、紙芝居もさせていただきました。

2カ所目は、馬見労務保育園さんで、
0～1歳児を担当して、お着替えや寝かせつけをさせていただきました。
各教室のタオル洗濯や片付けもしました。

3カ所目は、土庫病院さんで、
各病室の掃除やシーツ交換などをさせていただきました。

3年生になって
今の働いている、国保中央病院で、卒業後も含めると、5回実習しました。
作業内容は、看護補助業務で、洗濯および仕分け作業の実習をさせていただきました。

2. 今の仕事をしたいと思ったきっかけは、何ですか

- いとこのお母さんが、病院関係の仕事をしていて、その話を聞くなかで、あこがれの仕事でした。
- 3年生の夏休みの実習で、洗濯業務を初めて体験させてもらうなかで、裏方の仕事でしたが、患者さんの役にたつ仕事だと思い、やっていけそうだなと思いました。

3. 職場で気をつけていることは何ですか

- 同じ作業場の方々や、看護補助の方々に対して、「言葉遣い」と『笑顔』を意識して、対応するように心がけています。

4. 仕事のなかで苦手なこと、大変だなあと思う場面は、ありますか

- 休みあけの洗濯物の多さにびっくりします。そして、洗濯を進めるのがとても大変です。
- また、洗濯物によっては洗濯コースセッティングやたたみ方が違うので、覚えるのも大変です。

5. 働きだして、2ヶ月ですが、うれしいこと、楽しいことは何ですか

- 職場の方々からの言葉かけが、とてもうれしいです。
- 社会人になったことで、少し自由な時間ができたことです。

6. 初めての給料は何に使いましたか

- 貯金をしたり、服を買ったり、家にも少し、生活費として渡しています。

7. これからの目標はありますか

- 今の仕事をちゃんと覚えて、新しい仕事もできるようになりたいです。
- 免許を取って、車で通勤できるようになりたいです。

8. 職場の方に一言

- いつも気にかけてくださったり、話しかけてきてくださったり、ありがとうございます。
- これからも、よろしくお願いします。

9. これから就労を目指す、後輩たちに一言

- 時間を守った行動や言葉遣いは、とても大切です。学生時代から意識してほしいです。
- そして、私が学生時代に、ある先生から『ありがとうは、まほうの言葉』だよ、と聞きました。言った方も、言われた方も、いやな気持ちにはならない、すばらしい言葉です。みなさんも、感謝の気持ちを忘れずにしてほしいです。

市立奈良病院、国中央病院看護部のみなさまが生徒一人ひとりを見つめ、その得意なことを発見し、育てていく姿勢から多くを学びます。すべてに共通します！

実習を繰り返し、就労した2人の卒業生は、社会人として自信に満ちた姿で頼もしい限りです。引き続き、県内の病院における職場実習を集中的に取り組んでいきます。

NPO法人ならチャレンジド